



# G空間EXPOの開催

- G空間EXPOは、地理空間情報活用推進基本計画に基づき、産学官民の連携により、地理空間情報（G空間情報）の活用の有効性や最新の技術動向に関するセミナー、新産業・新サービスの創造に寄与する講演会・シンポジウム、新商品・新サービスの展示会等を行い、地理空間情報を活用した新技術の活用推進、普及啓発を図るイベント。

- 2010年度より実施、今年で12回目の開催。

## ◆ G空間EXPO2022

【会場開催】 令和4(2022)年12月6日(火)～7日(水)

東京ポートシティ竹芝 東京都立産業貿易センター浜松町館

【オンライン開催】 \* 期間調整中（上記会場開催期間を含む1か月程度を想定）

## ◆ 開催内容

- 最先端の技術やサービス等の**展示会**  
（測量・地理空間情報サービス事業者、国立研究機関、G空間EXPO運営協議会各団体 等）
- G空間情報に関する独創的なアイデア等の**発表・展示・表彰**  
（地方公共団体、教育関係者、学生、NPO、民間企業等＝公募）
- 講演・シンポジウム**（G空間社会を支える最新情報や研究成果の発表等）

## ◆ 主催：G空間EXPO運営協議会（\*下線は産学官の各幹事団体）

【産】 公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、  
一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、  
一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構、  
一般財団法人日本情報経済社会推進協会

【学】 一般社団法人地理情報システム学会

【官】 国土交通省不動産・建設経済局、国土交通省国土地理院、内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

### 【各府省の皆様へご協力いただきたいこと】

- ・ 広報協力（ポスター掲示、SNS拡散等）
- ・ 地理空間情報の利活用が期待される **関係団体や地方公共団体**等に対する以下の声掛け
  - － 地理空間情報フォーラムへの出展（希望に応じ、詳細情報を案内）
  - － 講演・シンポジウムへのご参画（希望に応じ、詳細情報を案内）
  - － 実地開催への来場、オンライン開催へのアクセス





# 【参考】G空間EXPO2021 実施内容

## メインステージ

12月7日(火)

10:00~10:20	<b>オープニングセレモニー</b> 主催者挨拶、テープカットを行います。
11:30~	<b>Geoアクティビティコンテスト(動画放映)</b> 国土地理院
15:00~	<b>Geoアクティビティコンテスト(表彰式)</b> 国土地理院
16:15~16:45	<b>ベンダーフォーラム</b> 株式会社デバイスワークス・ 北海道技術株式会社 [GISの活用～資源POCAの最適化～]

12月8日(水)

10:00~12:00	<b>自治体分科会シンポジウム</b> 一般社団法人地理情報システム学会
13:00~16:30	<b>ベンダーフォーラム</b>
(13:00~13:30)	リーグルジャパン株式会社 [RIEGL 3Dレーザー計測 カタログ]最新情報]
(13:45~14:15)	あっとクリエーション株式会社 [Googleマップ]上、GIS未測のノーコード地図開発 [カンタンマップ]
(14:30~15:00)	国立研究開発法人産業技術総合研究所 [G空間情報刷新プラットフォーム]
(15:15~15:45)	株式会社みるくる [航空写真測量 デジタル・カメラ・システムUltraCamと 三次元マッピング・ワークフロー-UltaMap]
(16:00~16:30)	朝日航洋株式会社 [8Kカメラ搭載計測車]GT-8K]

## 来場数・アクセス数

【実地開催：12/7~8】来場数 1,022名

【オンライン開催：12/1~26】

アクセス数 51,330件 (1,974件/日)

(参考)

・G空間EXPO2020 ※オンライン開催のみ

【オンライン開催：11/27~12/27】

アクセス数 58,306件 (1,880件/日)

・G空間EXPO2019 ※実地開催のみ

【実地開催：11/28~30】来場者数 15,513名

## 地理空間情報フォーラム(展示会)

出展数 27コマ

測量・地理空間情報サービス事業者、国立研究機関、G空間EXPO運営協議会各団体 等がブースを出展

## Geoアクティビティコンテスト(表彰)

出展数 16コマ

コンテストに応募した地方公共団体、教育関係者、学生、NPO、民間企業等が展示、プレゼン

## 講演・シンポジウム

プログラム数 11

衛星測位に関するものなど、G空間社会を支える最新情報や研究成果等をプレゼン(オンライン配信あり)

## 講演・シンポジウム

12月7日(火) 12:15~13:00 (オンライン)

- 第5回ソクジョCafeオンライン 公益社団法人日本測量協会  
測量、地理空間情報業界で働く女性の交流のためのオンラインCafeです。

12月8日(水) 10:00~15:00 (第1会議室)

- 第13回地理院地図パートナーネットワーク会議 国土地理院  
ペトルタイルに関する最近の動向、防災・地理教育とウェブ地図技術との連携の可能性についての講演及び意見交換を行います。 ※YouTube配信予定

12月8日(水) 10:00~12:00 (オンライン)

- デジタル空間社会における建物データの進展と今後(仮) 国立大学法人東京大学  
建物データに焦点をおいた研究の取組に触れながら、今後の展開のあり方を考えます。

12月8日(水) 13:00~17:00 (第3会議室)

- 衛星測位シンポジウム2021 一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構  
準天頂衛星システム「みちびき」サービスの利用促進と関連技術の共有を目的として開催するシンポジウムです。  
※YouTube配信予定

12月10日(金) 13:30~15:30 (オンライン)

- みちびき(準天頂衛星)ウェビナー ~みちびき利活用最前線 in G空間EXPO2021~  
内閣府宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システムサービス株式会社  
みちびきコミュニティの多彩な取り組み発表と、パネルディスカッション「高精度な位置と時間が作る未来」により、みちびきを活用した未来の社会イメージについて、活発な議論を展開します。 ※12/13よりオンデマンド配信予定

12月1日(水)~12月26日(日) (オンデマンド配信)

- 衛星星座レーション時代の本格到来と将来展望 一般社団法人日本写真測量学会 一般社団法人日本リモートセンシング学会  
衛星リモートセンシングに関する我が国の全体計画、地球観測衛星の現状と計画、新たな利用技術と分野に関する理解を深め、将来展望について議論を行います。
- G空間DXにつながる自治体の取組み 一般社団法人地理情報システム学会  
自治体DXについて整理し、話題提供者から自治体の取組事例を紹介後、参加者により自治体情報の活用方法についてディスカッションを行います。
- AIと地理学 公益社団法人日本地理学会  
現在、実際にAIを用いて地理的な研究を実施している研究者から講演いただき、将来の「AIと地理学」地理空間情報との関係性を展望します。
- 150年を迎えた我が国の「海図の地図」 日本地図学会  
国内外の地図・海図の歴史をたどり、最新の電子海図への発展を追い、海図利用者、一般利用者からの意見集約を行います。
- G空間情報センター設立5周年記念シンポジウム G空間情報センター  
G空間情報センターが今後果たすべき役割、目指す方向性について、産学官の様々な立場の皆様を交えてディスカッションを行います。



# 【参考】G空間EXPO2021 実施内容

## EXPO2021 メッセージ ゾーン

G空間社会のしくみを知って  
未来を感じよう!

G空間情報を活用し、未来の世界はますます安全で便利になっていくはず  
です。「でも、G空間って何だろう?」そんな疑問にお答えするため、あなたの身近にあるG空間社会を支えるしくみをか  
かりやすく説明します。

## EXPO2021 地理空間情報 フォーラム

最新のテクノロジーを見て  
触れよう!

企業・団体・機関等の展示・体験イ  
ベント等により、日本のG空間社会  
を支える最先端の技術やサービス  
等を紹介し、出展者による  
高度で専門的な展示を通じ、G空間  
社会についてもっと知りたいとい  
った方々や情報収集を目的とした  
ビジネス層のニーズに対応します。  
(測量CPD学習プログラム)

## EXPO2021 Geo アクセシビ リティ イベント

未来につながるアイデアを  
見に行こう!

公募により選ばれた地方公共団体・  
教育関係者・学生・NPO・民間企業  
等の方々が、G空間情報の活用に  
関する先進的な取組、独創的なイ  
デア、新たなサービス、ユニークな  
製品、画期的な技術などについて展  
示を行うイベントです。  
参加者や来場者が出会い、新たな  
アイデアが生まれる場を提供します。

## EXPO2021 講演 シンポジウム

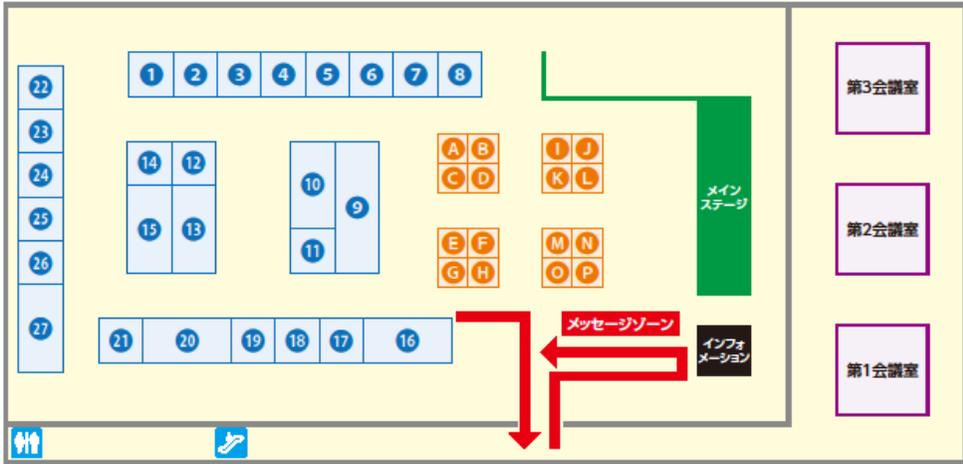
G空間社会の発展の動向を  
キャッチしよう!

G空間社会を支える「みちびき」を  
はじめとした測位技術の最新情報、  
関連する研究成果、製品化情報、業  
界動向と新しい技術動向を発信する  
場です。  
実用分野の広がりとともにますます  
身近になりつつあるG空間社会の突  
感を共有しましょう。

## 4F フロアマップ

### EXPO2021 地理空間情報 フォーラム

- ① あっとクリエーション株式会社  
Googleマップ以上GIS未測の、  
ノーコード地図システム「カンタンマップ」
- ② 株式会社みるくる  
航空写真測量デジタル・カメラ・システム  
UltraCamと三次元マッピング・ワークフローUltraMap
- ③ 一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構  
衛星測位 新生J-Spacesystemsの取り組み
- ④ アジア航測株式会社  
AASDXが創る、明日のG空間
- ⑤ ESRIジャパン株式会社  
GISプラットフォーム「ArcGIS」
- ⑥ —
- ⑦ 朝日航洋株式会社  
8Kカメラ搭載計測車両「GT-8K」と  
オープンソースソフトウェアQGIS
- ⑧ 株式会社快適空間FC  
多様化を支える、MULTI PLATFORM SOLUTIONS
- ⑨ 内閣府宇宙開発戦略推進事務局/  
準天頂衛星システムサービス株式会社  
みちびきショーケース
- ⑩ 株式会社パスコ  
未来を創る「G空間DX」  
デジタル化のカギを握る、パスコの最新空間情報技術
- ⑪ リーブルジャパン株式会社  
3Dレーザー計測による地理空間情報
- ⑫ 国土交通省  
高精度測位社会プロジェクトの取り組み紹介
- ⑬ 国際航業株式会社  
情報をつなげる力で、人・社会・地球の未来をデザインする  
～多彩な人材により「はかる」を超えるテクノロジーカンパニー～
- ⑭ 株式会社オーピーティ  
UAVレーザー測量で使用、UAV写真測量でも使用
- ⑮ 株式会社カクマル  
情報化施工のお役立ち
- ⑯ 国土交通省国土地理院  
防災・減災における国土地理院の取組
- ⑰ ソフトバンク株式会社  
「高精度測位ソリューション」のご紹介



- ⑱ 株式会社デバイスワークス・北海道技建株式会社  
GISの活用～現場PDCAの最適化～
- ⑲ 株式会社サテライトイメージャーマーケティング  
Airbus DSの提供する衛星画像・サービスの紹介
- ⑳ 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
G空間情報解析プラットフォーム
- ㉑ 株式会社ビーシステム  
3DGIS/点群処理システム「ScanSurvey Z」調査設計業務、  
スマート農業、林業もサポート
- ㉒ 一般財団法人日本地図センター  
おかげさまで来年2月で設立50周年を迎えます
- ㉓ G空間情報センター  
スマートシティの先へ  
～G空間情報の活用による課題解決支援～
- ㉔ 一般社団法人日本測量機器工業会  
拡大する測量機器・システムの活用
- ㉕ 公益社団法人日本測量協会  
日本測量協会の業務紹介

- ⑳ 「測量の日」実行委員会  
「測量の日」のご紹介と子供も大人も楽しめるクイズコーナー
- ㉑ 図書コーナー  
関連図書の展示及び販売
- ㉒ Geo  
アクセシビ  
リティ  
イベント
- ㉓ 株式会社北海道建設新聞社  
建設ニュースを地図で発信「e-kensinマップ」
- ㉔ 一般財団法人河川情報センター  
河川情報研究所 代表 錢 潮潮  
ベクトルタイル技術を活用した雨量空間分布及び流域雨量  
レベル表示
- ㉕ Code for History 大塚 恒平  
古地図アプリMaplat, その後の進化

- ㉖ ハイウエアエクス株式会社 海田 伸一郎  
iPhone用アプリ「GEODIVE EXAJ」  
精度2cmの位置情報に、テキスト、画像、動画を紐づけ保存
- ㉗ 宮崎県立佐土原高等学校  
防災アプリ「SHS災害.infoAR+」
- ㉘ 奈良大学 文学部地理学科  
高田 雄登・吉位 優作・岡山 和剛  
杉山 有希・浜田 優希・野村 遥  
安心・安全の避難経路はこれだ!～GIS解析を利用して～
- ㉙ 齋藤 仁志  
防災INSIGHT
- ㉚ 大阪市立大学 都市防災教育研究センター  
吉田 大介・三田村 宗樹  
応用技術株式会社  
林 博文・グエンバンティエン  
よりリアルな災害体験が可能になったオープンソースAR  
アプリ
- ㉛ 株式会社トンボロ/ NPO法人リトカル  
はなもく散歩  
樹木と電子地図が融合した自然学習アプリの開発
- ㉜ 電気通信大学大学院 情報理工学研究所  
情報学専攻 加藤 雄大  
GISと推薦システムを用いた利用者の分散型旅行を促す  
観光支援システム
- ㉝ 地理×女子  
地理×女子 活動成果報告  
～地理×女子が伝える地理の魅力～
- ㉞ 任意団体「Hokkaido Wilds.org」  
代表 トムソン・ロバート  
UTMグリッド入りの英語表記登山地図  
一国内地形図を国際基準に
- ㉟ 日本大学 経済学部 田中 圭  
被災状況を克明に記録する「ピピッとカメラ」の構築
- ㊱ Dipples 代表 渡辺 冬樹  
GEORUN  
大根島をバーチャルの世界で駆け抜ける
- ㊲ 株式会社ハッピーアロー 森 順子  
VRナソトキ地形  
～スマホで簡単1360度立体地形を楽しもう～
- ㊳ 株式会社マップフォー 代表 橋川 雄樹  
株式会社シナスタジア 代表 有年 亮博  
高精度デジタルツインが実現する新感覚XRテーマパーク事業